

# 活動紹介

## = うれしかった、ふれあいまつり =

10月25日、恒例となったきらら浜自然観察公園ふれあいまつりを開催しました。天候にも恵まれ例年とほぼ同じ数の来園者で賑わいました。バードウォッチング、工作、ゲーム、新作のペープサートの上演、子どもたちの顔は輝いていました。



何と言ってもメイン

プログラムは餅つき体験で

ウォークラリー受付風景



した。日ごろ持ちなれない杵を力いっぱい、あるいはよろめきながら振り上げ、振り下ろす子どもたちの姿に周りの大人たちの歓声もひとしおです。その賑やかさの中、一人の男子中学生が自ら進んで手伝ってくれる姿がありました。彼は幼いころから家族で公園に通い、自然と触れ合いスタッフと親しみ、公園や葦の会のイベントにも積極的に参加してくれています。この日も餅つき体験コーナーの整備や小さい子どもたちの世話をする彼の心遣いにスタッフ一同は目を細めました。数年来、彼を見続けているスタッフにとって彼の成長がとてもうれしく、こんなうれしいことがあるなら「よしっ、来年も頑張ろう」と思ったものでした。

## = 新作ペープサートお披露目、感想は？ =

ふれあいまつりの午後のプログラムでショートプログラムチームが年度当初より企画・制作していたペープサートの初上演をしました。ストーリーを書いたり直したり、登場人物(?)や背景へのこだわりもあったりで、出来上がるまでに何度も話し合い、工夫を重ねました。そのため練習時間が不足気味でしたが、その分上演者の情熱で乗り切ろうとチーム一同精一杯頑張りました。

興味深げに観ていた子どもの一人は「面白かったけど、大きな魚が出てきた時はちょっと怖かった」と答えてくれました。まつりの後の反省会では「言葉遣いが難しい、小さい子にも分かりやすい表現にするべき」「背景が小さかった」などの意見が出されました。ショートプログラムチームではこれらの意見を参考に改善を加え、12月23日(祝日)に、きらら元気ドームで行われる“ファンタジークリスマスinきらら”で再上演する予定です。



## = 親睦を深めに国東半島紅葉旅 =

11月29日、葦の会恒例の親睦研修旅行で国東半島にバス旅行をしてきました。ごろごろの石の道を登ってたどりついた熊野の磨崖仏ははっと息をのむ迫力でした。本物に出会いその時代に思いを馳せる。何百年も前の人々と同じものを見ている不思議さと何百年後の未来を思い、引き継がれた自然と引き継がれた人の命が感じられた研修旅行でした。